



上鷺宮

「自然といのちを守る学校」

<http://nk-kamisagi-e.a.la9.jp/>

No.450

平成30年度
学校だより 3月号

中野区立上鷺宮小学校

校長 堀 聡明

TEL 3926-6381

ご理解ご支援に感謝申し上げます

校長 堀 聡明

正門と西門には紅白の梅の花が咲き、心地よい香りを漂わせ、子供たちを励ましてくれています。1年生が植えたチューリップの芽も大きくなってきました。春が来たと感じます。

なにげなく交わしている日常の言葉かけがなくなると急に不安になります。外出するときに「いってくるよ」と家で声をかけると「いってらっしゃい」と返事があればずっと出ることができます。しかし返事が返ってこないと小心者の私はさらに大きな声で叫び、返事が返ってくるとほっとします。皆さんはいかがですか。

子どもに「日常、学校や家庭の中で子どもがほっとする声かけはなんですか」と聞いてみました。上鷺宮小の子どもにとって、大切に思えた言葉が「ただいま」「おかえり」だったのです。

あるお母さんの話では、「ただいま」の声の感じで元気かな、なにかあったかな、と心配するのだそうです。専科の教室などで授業を受けて教室に帰ってきたときに「先生、ただいま」と戻ってくる子どもがいて、担任も「おかえり」と迎えます。

「ただいま」は、「唯今の私でいいの」という確認もあると思います。だから、心細い、不安な時こそ聞きたい一言が「おかえり」なのです。ご家庭で地域で、互いに伝え合いたいですね。

いよいよ3月、有終の美を飾る月です。それぞれの学年の子供たちが4月に比べると体も大きくなり、次の学年になる心の準備をしているように見えます。特に6年生は卒業と中学入学に向けて、期待と不安に胸ふくらませています。残された小学校での日々を充実して過ごしてほしいと願っています。

保護者の皆様、地域の方々には、お世話になりました。来年度も、「よく考える子ども けんこうな子ども すすんで働く子ども 思いやりのある子ども」の育成を目指し教職員一丸となって取り組んでいきます。

この1年間、教育活動へのご理解ご支援に感謝いたします。ありがとうございました。

3月の生活目標

1年間のまとめをしよう